

平成27年

国勢調査を実施します

あなたの回答が、日本の未来をつくる



図 総合政策課（氷上庁舎内）国勢調査担当 ☎ 88 - 5995

国勢調査で調べることとは？

- ▼ 世帯員について（13項目）
「男女の別」「出生の年月」「配偶の関係」「就業状態」「従業地または通学地」など
- ▼ 世帯について（4項目）
「世帯員の数」「住居の種類」「住宅の建て方」など

◇ 記入漏れにご注意ください！

調査票に記入誤りがあると、調査結果の精度が低くなり、過去の調査との変化を正しく読み取れなくなります。将来の予測に差異が生じ、各施策の立案に支障をきたします。

記入漏れや誤りがあつたときは、市の国勢調査担当者または国勢調査指導員（市職員）が各世帯へ記入内容の照会をすることがありますのでご協力ください。

法律で回答する義務が定められています

国勢調査の結果は、国や都道府県・丹波市の各種施策や民間での研究開発など、社会経済の発展を支える基盤として利用されています。そのため、この調査は非常に高い信頼性が必要です。信頼性を向上させるため、国勢調査には法律で回答する義務が定められています。

国勢調査が大きく進化！ スマート国勢調査がはじまります

今回の国勢調査では、日本で初めて全世帯を対象としてインターネットを利用した調査を実施します。スマート国勢調査とはインターネットを利用して行う国勢調査のことをいいます。正確かつ効率的な調査の実施と、みなさんの負担軽減・利便性の向上を目的としています。

調査する内容は、全部で17項目。複数の項目から選ぶだけの回答もあり、簡単です。

パソコン・タブレット・スマートフォンなどをお持ちの方は「スマート国勢調査」にご協力ください。

ネット好きで
インターネット
を使うと回答
の時間に回答
が便利！



5年に1度！ 国勢調査はどんな調査？

10月1日を調査基準日に、平成27年国勢調査が全国一斉に実施されます。この調査は、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、法律に基づき、5年に1度実施される最も重要な統計調査です。

何のためにする調査？

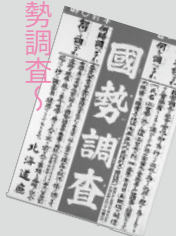
国勢調査から得られる日本の人口や世帯の実態情報は、国や都道府県、丹波市など行政の基礎資料として活用するほか、雇用・経済・行政施策の立案や、学術研究機関・企業で広く活用し、私たちの暮らしに役立てられます。

また、各自治体間の財政の均衡を保つため、国から交付されている地方交付税の算定基礎にも活用します。

調査対象はすべての人・世帯！

国勢調査は、10月1日現在、日本国内に住んでいるすべての人・世帯が対象です。生まれたばかりの赤ちゃんはもちろん、3カ月以上日本に住んでいる（住むことになっている）外国人も調査対象となります。

国勢調査のあゆみ



～第1回国勢調査～ 近代統計調査の幕開け 我が国最初の国勢調査

第1回国勢調査は、「国勢調査二関スル法律」の制定から18年後の大正9年に実施されました。この調査は、我が国における近代的統計調査の幕開けといえるべきものです。当時の人口は55,963,053人で、平成22年国勢調査の4割ほどでした。



～第6回国勢調査～ 幻の国勢調査 戦後混乱期には延期も

昭和20年は太平洋戦争終結の年のため中止され、2年後の昭和22年に、戦後産業の復興と民政の安定を旗印に第6回臨時国勢調査として実施されました。人口は78,101,473人で戦争直後の人口の実態を知ることができ、貴重な資料となりました。

～第11回国勢調査～ 大台突破 人口は1億人時代へ

昭和45年の調査は、経済大国日本の爛熟期です。経済発展とともに、人口は増加の一途をたどり、104,665,171人となりました。人口1億人時代のはじまりです。

また、激化する人口移動を解明するため、調査事項に現住居の入居時期、従前の住居などが加わりました。

～第20回国勢調査～ 変わりゆく国勢調査 スマート国勢調査を開始

今回の調査では、インターネット回答が全面導入されます。調査票の配布に先行してインターネットで回答できる期間を設定して実施します。国勢調査は、時代に合わせて進化し続けます。





調査票配布

9月26日（土）～30日（水）
インターネットでの回答がなかった世帯には、9月26日（土）から調査員が紙の調査票を配布します。



インターネット回答

9月10日（木）～20日（日）
配布したIDを使ってパソコンやタブレット、スマートフォンからインターネット回答をしてください。



インターネット回答用ID配布

9月10日（木）～12日（土）
全国一斉にスタートするインターネット回答用ID※を全世帯に配布するため、調査員がみなさんのご自宅へ伺います。
※ID：個人などを識別する符号

調査票の提出

10月1日（木）～7日（水）

記入した「調査票」は、調査員に手渡しまたは郵送のいずれかの方法で提出してください。



調査票確認・集計

10月23日（金）～順次

市で調査票の記入漏れや記入誤りなどを確認し、コンピュータによる集計を行います。

～国勢調査員がご自宅へ伺います～



▶国勢調査員は『国勢調査員証』と『腕章』『青色の手提げ袋』を持っています。



注！ 国勢調査をよそおった「かたり調査」にご注意ください！

国勢調査をよそおった不審な訪問者や、不審な電話・電子メールなどにご注意ください。

不審に思ったときは、回答せずに速やかに丹波市役所までお知らせください。調査員は、その身分を証明する「国勢調査員証」を携帯しています。

動画で！写真で！
楽しく学べる

～スペシャルムービー公開中～

「データの向こうにドラマがある。スマート国勢調査 2015」
キャスト：織田信成 センサスくんほか

ホームページをチェック
国勢調査 <http://kokusei2015.stat.go.jp/index.html>



出典：総務省統計局ホームページ（<http://kokusei2015.stat.go.jp/index.html>）

国勢調査でわかること

- ▶人口の増減がわかります
- ▶少子高齢化の進行度合がわかります
- ▶年代別人口分布がわかります
- ▶家族構成やその類型ごとの割合がわかります
- ▶産業別の就業者割合がわかります



だれもが見たことある資料が国勢調査のデータを基につくられています。

知ってほしい 国勢調査のこと
こんなところで国勢調査が活きている
国勢調査は、実際の居住を基に、人口や産業別就業者数などの統計を作成します。そのため信頼性が高く、行政運営の基礎資料として広く活用されています。さらに選挙区の決定や地方交付税額の算定など、多くの法令における基準人口は、国勢調査で得られた人口です。そのため、国勢調査の人口は「法定人口」とも呼ばれています。
また、国勢調査から得られるデータは、行政機関だけでなく、企業や各種団体にも広く利用されています。企業などでは、地域社会の実態を知り、商品・サービスの開発などに活用されています。

あなたの回答が必要です
国勢調査から得られるデータは、私たちの生活のあらゆる分野で活用されています。より正確で信頼性のある調査となるようにご協力ください。あなたの回答が丹波市の未来、日本の未来をつくりります。

実は…とても密接な「国勢調査」と「市の歳入」の関係

市の歳入の大きな割合を占める地方交付税。平成27年度は3割を超える129億円が交付されています。

実はこの交付金の算定の際、基準となる人口や世帯数などは国勢調査の結果によるものです。つまり、正しい結果が得られないと、市の歳入に影響がでてしまいます。

みなさん一人ひとりのご協力をお願いします。

